

なづけたるす、のみまきのこまなれやかひしふるのをわすれざりける
返し
あはれにもこまかへりける心哉いかなるす、のみまきなるらん
よみ人まらず

〔西宮記 八月〕上野御馬

上卿著左仗外記覽解文先申候上卿令開繫飼文留座勅旨牧在馬寮式每年駒率是也官牧在兵部式諸國進繫飼是也

〔延喜式 四十八馬寮〕御牧

甲斐國柏前牧 眞衣牧 武藏國石川牧 由比牧 信濃國山鹿牧 笠原牧 高岡屋牧 宮處

倉牧埴原牧 大野牧 大室牧 猪鹿牧 萩 上野國利代牧 有馬牧 沼尾牧 久野牧

新屋牧中略 凡年貢御馬者、甲斐國六十疋眞衣、柏前兩牧 卅疋 武藏國五十疋諸牧 卅疋 立 信濃國八十疋諸牧 六十疋

廿、上野國五十疋、

〔延喜式 四十八馬寮〕凡諸節及行幸應用國飼御馬者、斟量須數奏聞、乃下官符令進、唯牧放飼馬者寮移

當國、國即令牧子牽送但攝津國鳥養牧、豐島牧、不

攝津國鳥養牧右寮 豐島牧右寮 爲奈野牧右寮 近江國甲賀牧左寮 丹波國胡麻牧左寮 播磨國垂水牧左寮

右諸國所貢馬牛、各放件牧、隨事繫用、

〔西宮記 八月〕天曆三年十月廿三日、於仁壽殿覽後院利山山恐 萩原御馬、近衛府分取、遣賜、當時親

等遣賜垂水水恐 御牧、

〔吾妻鏡 六〕文治二年三月十二日庚寅中 又關東御知行國々内、乃貢未濟庄々、召下家司等注文、被

下之、可加催促給之由云云、今日到來、中

左馬寮領